

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公表番号】特表2013-541944(P2013-541944A)

【公表日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-063

【出願番号】特願2013-529675(P2013-529675)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 16/18 Z N A

C 0 7 K 16/46

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 P 21/08

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 K 39/395 C

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月26日(2014.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マウス免疫グロブリン 軽鎖定常ドメイン(C )が対応するヒトC ドメインまたはその断片で置換されており、抗体がHSP90に特異的に結合しそして腫瘍細胞の成長及び/又は浸襲性を減少させることができ、マウスカッパL鎖が配列番号2に記載の配列と少なくとも85%の同一性を有するか、又は、抗体が配列番号4に記載の配列と少なくとも75%、85%または95%のアミノ酸配列同一性を有する、重鎖を欠失しているマウスカッパL鎖を含んでなる単離されたキメラ抗体。

【請求項2】

マウスカッパL鎖が、配列番号5、6または7に記載の配列と少なくとも75%の同一性を有する1つ又はそれ以上のマウス相補性決定領域を含む、請求項1に記載のキメラ抗体。

【請求項3】

配列番号4に記載の配列を含むか、または本質的に配列番号4に記載の配列からなる、単離されたキメラ抗体。

【請求項4】

請求項1~3のいずれか一項に記載のキメラ抗体または配列番号4に記載の配列を含んでなるポリペプチドをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項5】

ポリヌクレオチドが配列番号3に記載の配列を有する、請求項4に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項6】

細胞内で発現するように配置された、請求項4又は5に記載のポリヌクレオチドを含んでなる、発現ベクター。

【請求項7】

請求項6に記載の発現ベクターを含んでなり、原核又は真核細胞である、細胞。

【請求項8】

方法が、腫瘍細胞を請求項1~3のいずれか一項に記載のキメラ抗体と接触させ、それにより、腫瘍細胞の成長及び/又は浸襲性を減少することを含んでなる、腫瘍細胞の成長及び/又は浸襲性を減少する方法。

【請求項9】

方法が、治療有効量の請求項1~3のいずれか一項に記載のキメラ抗体を対象に投与し、それにより、対象を治療することを含んでなる、腫瘍形成を有する対象を治療する方法。

【請求項10】

方法が、治療有効量の請求項1~3のいずれか一項に記載のキメラ抗体を対象に投与し、それにより、対象における腫瘍進行若しくは転移を治療又は予防することを含んでなる、腫瘍形成を有する対象における腫瘍進行若しくは転移を治療又は予防する方法。

【請求項11】

腫瘍細胞が癌細胞であり、癌が乳癌、メラノーマ、膠芽腫、結腸癌、非小細胞肺癌、リンパ腫、およびHSP90が過剰発現されるその他の癌からなる群より選択される、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

キメラ抗体が機能的部分、放射性機能的部分又は化学療法剤と共有結合している、請求

項 10 又は 11 に記載の方法。

【請求項 13】

酢酸アピラテロン、アルトレタミン、無水ビンブラスチン、アウリスタチン、ベキサロテン、ピカルタミド、BMS 184476、2、3、4、5、6-ペンタフルオロ-N-(3-フルオロ-4-メトキシフェニル)ベンゼンスルホンアミド、プレオマイシン、N,N-ジメチル-L-パリル-L-パリル-N-メチル-L-パリル-L-プロリ-1-L-プロリン-t-ブチルアミド、カケクチン、セマドチン、クロラムブシル、シクロホスファミド、3',4'-ジデヒドロ-4'-デオキシ-8'-ノルヴィン-カロイコブラスチン、ドセタキソール、ドキシタキセル、シクロホスファミド、カルボプラチン、カルマスチン(BCNU)、シスプラチン、クリプトフィシン、シクロホスファミド、シタラピン、ダカルバジン(DTIC)、ダクチノマイシン、ダウノルピシン、デシタピン、ドラスタチン、ドキシソルピシン(アドリアマイシン)、エトボシド、5-フルオロウラシル、フィナステリド、フルタミド、ヒドロキシ尿素およびヒドロキシ尿素タキサン、イホスファミド、リアロゾール、ロニダミン、ロムスチン(CCNU)、MDV3100、メクロレタミン(ナイトロジェンマスタード)、メルファラン、イセチオン酸ミボプリン、リゾキシ、セルテネフ、ストレプトゾシン、マイトマイシン、メトトレキサート、5-フルオロウラシル、ニルタミド、オナプリストン、バクリタキセル、ブレドニムスチン、プロカルバジン、RPR109881、ストラムスチンリン酸塩、タモキシフェン、タソネルミン、タキソール、トレチノイン、ビンブラスチン、ピンクリスチン、硫酸ビンデシンおよびピンフルニンからなる群より選択される、1つ又はそれ以上の化学療法剤の治療有効量を対象に投与することをさらに含んでなる、請求項10~12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

治療有効量の請求項1~3のいずれか一項に記載のキメラ抗体を含んでなる、腫瘍形成の治療のための医薬組成物。

【請求項 15】

キットが請求項1~3のいずれか一項に記載のキメラ抗体又は配列番号4、配列番号5、配列番号6及び配列番号7に記載の配列からなる群より選択される配列を含む単離されたポリペプチドの治療有効量；並びに請求項8~13のいずれか一項に記載の方法でキットを使用するための説明書を含んでなる、腫瘍形成の治療のためのキット。